

◆ 九頭竜川中流部ブロック河川整備計画の進捗点検個票（案）

第8回九頭竜川流域懇談会で説明する点検個票

NO	整備計画の記載事項（点検の対象事項）				点 検 の 内 容			
	項 目	整備計画記載内容	整備計画本文との対応		点検方法	参考数値	点検個票 ページ	
			整備計画の目標 に関する事項	河川整備の実施 に関する事項				
1	5.1 河川工事の目的、種類及び施行の場所など	(1)九頭竜川	●飯島工区 →河道拡幅、河床掘削、護岸工 ●小舟渡工区→河道拡幅、河床掘削、護岸工 ●松ヶ崎工区→河道拡幅、河床掘削、護岸工	P14~15	P17~20	河川整備の進捗状況、整備に対する配慮事項	$\text{整備進捗率}(\%) = \frac{\text{施工済延長}(m)}{\text{計画延長}(m)} \times 100$	P1~P2
2		(2)南河内川	河道拡幅、河床掘削、護岸工、護床工	P14~15	P21~22	河川整備の進捗状況、整備に対する配慮事項	$\text{整備進捗率}(\%) = \frac{\text{施工済延長}(m)}{\text{計画延長}(m)} \times 100$	P3~P4
3		(3)河内川	河道拡幅、河床掘削、護岸工 河川工事の実施など人工的な改変においては、自然環境への影響を極力軽減する。	P14~15	P23~24	河川整備の進捗状況、整備に対する配慮事項、 動植物の生息・生育環境に関する調査	$\text{整備進捗率}(\%) = \frac{\text{施工済延長}(m)}{\text{計画延長}(m)} \times 100$ 動植物の生息・生育環境に関する調査	P5~P12
4		(4)大連寺川	河床掘削、護岸工、地下放水路	P14~15	P25~27	河川整備の進捗状況、整備に対する配慮事項	$\text{整備進捗率}(\%) = \frac{\text{施工済延長}(m)}{\text{計画延長}(m)} \times 100$	P13~P14
5	5.2.2.1 洪水等による災害の発生防止又は軽減に関する維持管理	(1)河川管理施設の維持管理	①河川施設の巡視、修繕状況 ②永平寺ダム・浄土寺ダムの維持管理状況	—	P28	「河川巡視」の実施内容、「ダム点検」の実施内容		P15~P16
6		(2)河道の維持管理	①堆積土砂の撤去、樹木群の伐採 ②河床低下による河川管理施設の影響が生じた場合の対応 ③橋梁や樋門等の新設・改築時の占有者の指導	—	P28	「堆積土砂の撤去」「樹木群の伐採」の取組みの状況、占有者への指導	堆積土砂撤去量(平成24年度~平成26年度) 樹木群の伐採量(平成24年度~平成26年度)	P17
7		(3)防災機能の充実	①流域内の雨量や河川水位情報の提供方法 ②浸水想定区域図・洪水ハザードマップ作成	P14~15	P28~29	流域内の雨量や河川水位情報の提供状態、洪水ハザードマップ公表状況	指定・公表年月日	P18~P19
8	5.2.2.2 河川の適正な利用及び流水の正常な機能の維持に関する維持管理	(1)水量の管理 (2)許可工作物の設置等への対応	①日常的な水量の把握 ②慣行水利権の許可水利権への移行 ③湧水対策 ④取水堰等の点検・修理指導	P15	P29	「許可水利権化」「湧水対策」「許可工作物の設置等への対応」の取組み		P20
9	5.2.2.3 河川環境の整備と保全に関する維持管理	(1)水質の監視	①水質の情報提供方法及び水質に対する住民意識の向上や啓発活動・広報活動の取組み ②水質事故等の発生状況及び発生時の想定対応 ③ダム管理者や発電事業者による濁水の長期化	P15	P29~30	水質監視の取組み		P21
10		(2)河川環境の保全	①永平寺川の魚道の整備 ②河道内の樹木の伐採等の手法 ③外来種の対応状況 ④永平寺川と浄土寺川のダム貯留水を利用した河川環境の保全の取組み	P15	P30	魚道整備効果		P22~P25
11		(3)河川空間の適切な利用	①オープンスペースとしての高水敷部の利用や河川とのふれあい・体験学習の場としての利用 ②河川内の不法投棄を防ぐための看板の対策	P15	P30	利用状況		P26
12	5.3.1 地域住民との協働	①住民参加による河川美化活動	P15	P31	住民との協働による「河川美化活動」の取組み	住民との協働による草刈り等の参加人数	P27	

※ 重点議題

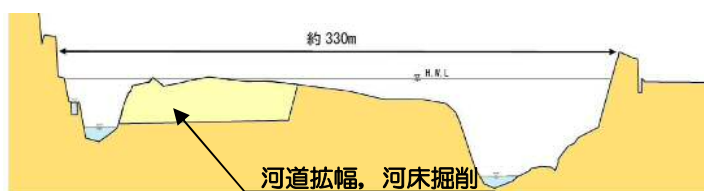
- ① 整備完了区間（一級河川 河内川） 点検個票No03 ⇒ 完了した河川改修事業の工事概要および事業着手前と完成後の環境調査結果
- ② 魚道整備（一級河川 永平寺川） 点検個票No10 ⇒ 魚類の生息・生育・繁殖環境を再生するために実施した魚道整備の概要

河川整備計画 進捗点検		No 01	整備計画本文との対応 (ページ)		整備 目標年
			河川整備計画の目標 に関する事項	河川整備の実施 に関する事項	
			P14~15	P17~20	
記載事項	項目	5.1 河川工事の目的、種類及び施行の場所など (1) 九頭竜川 永平寺町飯島地先、永平寺町藤巻地先、勝山市荒土町松ヶ崎地先			
	内容	<ul style="list-style-type: none"> ● 飯島工区 → 河道拡幅、河床掘削、護岸工 ● 小舟渡工区 → 河道拡幅、河床掘削、護岸工 ● 松ヶ崎工区 → 河道拡幅、河床掘削、護岸工 			
点検方法		河川整備の進捗状況、整備に対する配慮事項			
参考数値		整備進捗率(%) = 施工済延長(m) ÷ 計画延長(m) × 100			

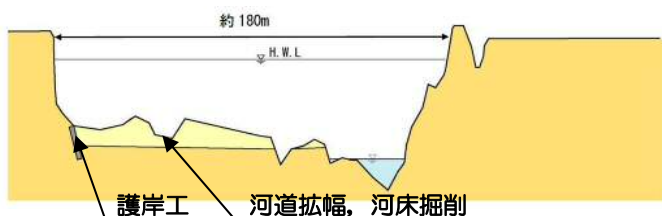
進捗状況		1 位置図	
【点検結果】 ・ 整備進捗率 $= 0(m) / 3800(m) \times 100$ $= 0 (\%)$		1 位置図 	
【備考】 ・ 未着手			
2 横断図 A-A' 飯島工区 河口から34.0K付近		3 現況写真	

河川整備計画 進捗点検	No 01	整備計画本文との対応 (ページ)		整備 目標年
		河川整備計画の目標 に関する事項	河川整備の実施 に関する事項	
		P14~15	P17~20	
記載事項	項目	5.1 河川工事の目的、種類及び施行の場所など (1) 九頭竜川 永平寺町飯島地先、永平寺町藤巻地先、勝山市荒土町松ヶ崎地先		
	内容	● 飯島工区 → 河道拡幅、河床掘削、護岸工 ● 小舟渡工区 → 河道拡幅、河床掘削、護岸工 ● 松ヶ崎工区 → 河道拡幅、河床掘削、護岸工		
点検方法		河川整備の進捗状況、整備に対する配慮事項		
参考数値		整備進捗率(%) = 施工済延長(m) ÷ 計画延長(m) × 100		

B-B' 小舟戸工区 河口から40.0K付近



C-C' 松ヶ崎工区 河口から44.5K付近



4 整備にあたっての配慮事項

平常時の水位以上の部分を掘削するなどして、多様な生物の生息場となっているヨシ等の繁茂する水際や、ワンド等の改変を極力抑える。

5 工程表

区間	～概ね10年	～概ね20年	～概ね30年
①飯島工区		-----	-----
②小舟渡工区		-----	-----
③松ヶ崎工区		-----	-----
	H18 年度	H28 年度	H38 年度
			H48 年度

点検結果の考察

- ・ 河川整備計画に基づき、今後事業進捗を図っていく。

河川整備計画 進捗点検	No 02	整備計画本文との対応 (ページ)		整備 目標年
		河川整備計画の目標 に関する事項	河川整備の実施 に関する事項	
		P14~15	P21~22	
記載事項	項目	5.1 河川工事の目的、種類及び施行の場所など (2) 南河内川 永平寺町山王地先~永平寺町栗住波地先		
	内容	河道拡幅、河床掘削、護岸工、護床工		
点検方法		河川整備の進捗状況、整備に対する配慮事項		
参考数値		整備進捗率(%) = 施工済延長(m) ÷ 計画延長(m) × 100		

進 捗 状 況	
【点検結果】 ・ 整備進捗率(%) $= 40(m) \div 850(m) \times 100$ $= 5 \quad (\%)$	1 位置図
【備考】 ・ 平成23年度事業着手	
2 横断図 A-A' 断面 	3 現況写真

河川整備計画 進捗点検	No 02	整備計画本文との対応 (ページ)		整備 目標年
		河川整備計画の目標 に関する事項	河川整備の実施 に関する事項	
		P14~15	P21~22	
記載事項	項目	5.1 河川工事の目的、種類及び施行の場所など (2) 南河内川 永平寺町山王地先~永平寺町栗住波地先		
	内容	河道拡幅、河床掘削、護岸工、護床工		
点検方法		河川整備の進捗状況、整備に対する配慮事項		
参考数値		整備進捗率(%) = 施工済延長(m) ÷ 計画延長(m) × 100		

4 整備にあたっての配慮事項

付近に小中学校があることから、子供達が河川環境について学習できる場として活用できるように、護岸勾配を緩くするなど親水性を向上させる。

- ・ 整備区間の上志比中学校横に階段工を設置し、子供達が河川環境について学習できる場として整備していく予定である。



5 工程表

区間	～概ね10年		～概ね20年		～概ね30年	
永平寺町山王 ～永平寺町栗住波						
	H18 年度	H23 年度	H28 年度	H32 年度	H38 年度	H48 年度

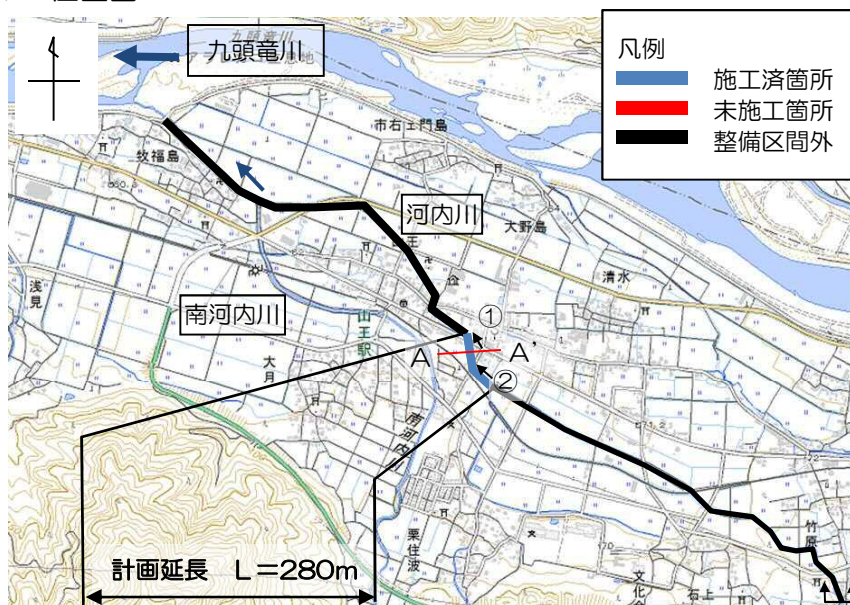
点検結果の考察

- ・ 河川整備計画に基づき、引き続き事業進捗を図っていく。

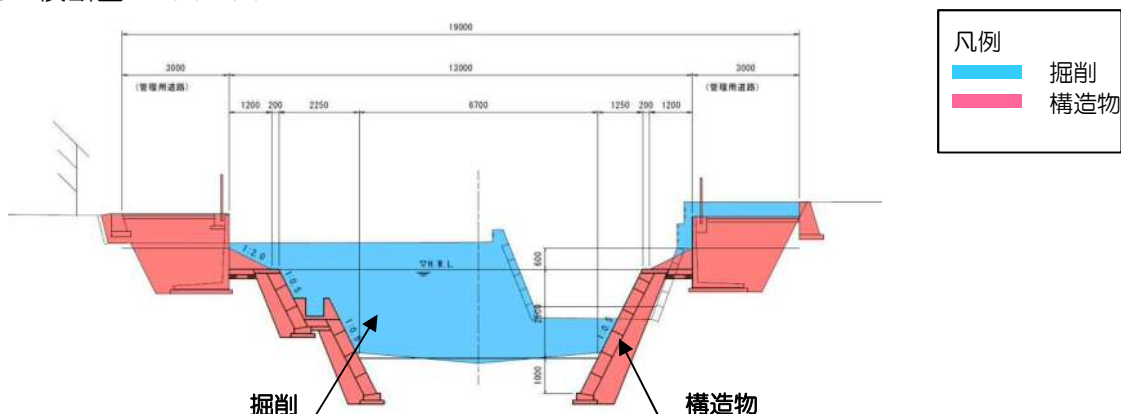
河川整備計画 進捗点検	No 03	整備計画本文との対応 (ページ)	
		河川整備計画の目標に関する事項	河川整備の実施に関する事項
		P14~15	P23~24
記載事項	項目	5.1 河川工事の目的、種類及び施行の場所など (3) 河内川 永平寺町山王地先~永平寺町栗住波地先	
	内容	河道拡幅、河床掘削、護岸工	
点検方法		河川整備の進捗状況、整備に対する配慮事項	
参考数値		整備進捗率(%) = 施工済延長(m) ÷ 計画延長(m) × 100	

進捗状況
【点検結果】 ・ 整備進捗率 $= 280(m) / 280(m) \times 100$ $= 100 (\%)$
【備考】 ・ 平成24年3月事業完了

1 位置図



2 横断面図 A-A'



河川整備計画 進捗点検	No 03	整備計画本文との対応 (ページ)	
		河川整備計画の目標に関する事項	河川整備の実施に関する事項
		P14~15	P23~24
記載事項	項目	5.1 河川工事の目的、種類及び施行の場所など (3) 河内川 永平寺町山王地先~永平寺町栗住波地先	
	内容	河道拡幅、河床掘削、護岸工	
点検方法		河川整備の進捗状況、整備に対する配慮事項	
参考数値		整備進捗率(%) = 施工済延長(m) ÷ 計画延長(m) × 100	

3 現況写真



4 整備にあたっての配慮事項

車や歩行者の通行など居住環境に極力影響を及ぼさないように、
工事施工中はバリケードで歩行者の導線を確認し、歩行者の安全を確保した。

5 工程表

区間	～概ね10年	～概ね20年	～概ね30年
永平寺町山王 ～永平寺町栗住波	■		
	H18 年度	H23 年度	H28 年度
			H38 年度
			H48 年度

点検結果の考察

- ・ 河川整備計画通りに事業が完了した。

河川整備計画 進捗点検	No 03	整備計画本文との対応 (ページ)	
		河川整備計画の目標に関する事項	河川整備の実施に関する事項
		P14~15	P23
記載事項	項目	5.2.2.3 河川環境の整備と保全に関する維持管理 (2)河川環境の保全 河内川 永平寺町山王地先~永平寺町栗住波地先	
	内容	河川工事の実施など人工的な改変においては、自然環境への影響を極力軽減する。	
点検方法		動植物の生息・生育環境に関する調査	
参考数値			

点検結果

1 調査概要

動植物の生息・生育環境に関する調査を、次のとおり実施した。

・調査項目, 調査内容, 調査時期

調査項目	調査内容	着工前調査	完成後調査
植物	目視観察による植生調査	平成 15年 8月 18日, 19日	平成27年10月30日
魚類	投網、夕モ網による捕獲	平成 15年 8月 21日, 22日	
底生動物	コドラート法による定量採集	平成 15年 8月 22日 (夏季) 平成 16年 2月 3日 (早春季)	

・調査位置図



河川整備計画 進捗点検	No 03	整備計画本文との対応（ページ）	
		河川整備計画の目標に関する事項	河川整備の実施に関する事項
		P14~15	P23

調査区間の植物の状況

2-1 植物

- ・ 完成後調査で21科43種確認され、重要種は確認されなかった。
- ・ 外来種は5科11種確認されたが、「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」に基づく特定外来種は確認されなかった。

着工前調査と完成後調査の群落比較

色凡例	基本群落	群落名等	着工前調査			完成後調査
			下流域	施工区間	上流域	
	沈水植物群落	コカナダモ群落	●	●		●
	一年生草本群落	ミゾソバ群落	●		●	●
		オオイヌタデ群落			●	
		カナムグラ-ミゾソバ群落	●			
	多年生広葉草本群落	ヨモギ群落	●		●	
		ヨモギ-ススキ群落	●	●	●	
		ヨモギ-シロツメクサ群落	●		●	
		ヨモギ-クズ群落	●		●	
		イタドリ群落	●			
		カラムシ群落			●	
		カラムシ-ススキ群落		●	●	
		カラムシ-コアカソ群落		●		
		カラムシ-クズ群落			●	
		カラムシ-ヨモギ群落		●	●	
		セイトカアワダチソウ-ススキ群落	●		●	●
	単子葉植物群落	ツルヨシ群落	●	●	●	●
		ミクリ群落		●		
		ススキ群落			●	
		ススキ-クズ群落	●		●	
		マコモ群落	●	●		
		アキノエノログサ-メヒシバ群落	●		●	
	その他の低木林	シバ群落	●			
		クズ-ワラビ群落			●	
	クズ-カナムグラ群落			●		
		アカメガシワ群落		●		

注) 施工前の結果は環境情報図 (H15) に基づく

赤字: 外来種を主体とする群落

<河内川の主な植物>



河川整備計画 進捗点検	No 03	整備計画本文との対応 (ページ)	
		河川整備計画の目標に関する事項	河川整備の実施に関する事項
		P14~15	P23

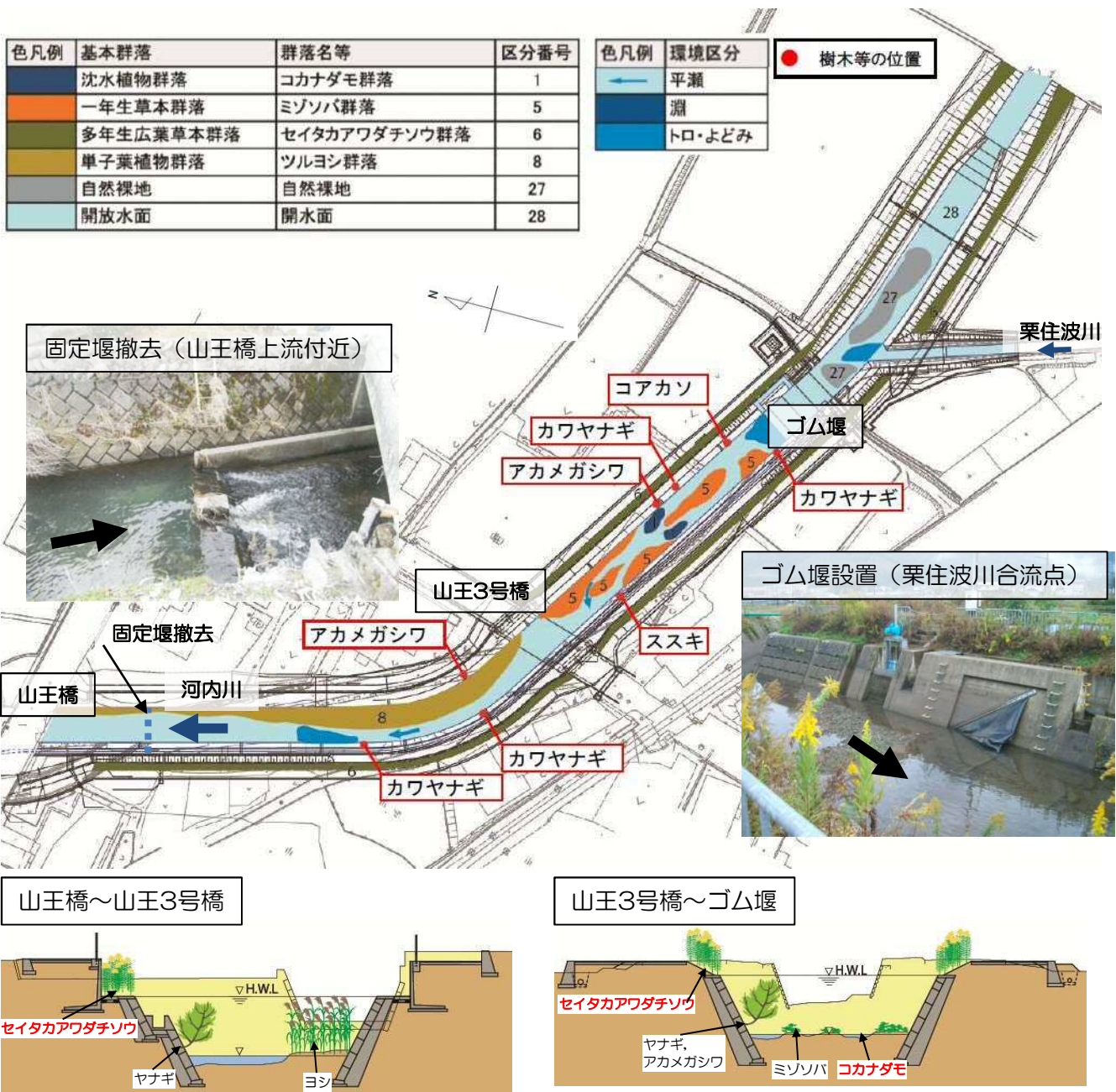
調査区間の植物の状況

完成後調査区間の植物の状況を下図に示す。

- ・ 山王橋上流の河床は平坦であり、右岸側には一部ヨシ原が見られる。
- ・ 山王3号橋下流の湾曲部にヨシ原が広がり河道が狭い。
- ・ ゴム堰下流の河床は平坦であり、ミソソバ等の小群落が生息している。
- ・ ゴム堰上流は礫質の河床となっている。

<考察・評価>

着工前調査の施工区間では固定堰があったため、湛水域となり、ミクリやマコモなどの止水性を好む植物が多くみられた。完成後は、固定堰が撤去され、取水時だけ湛水域となるゴム堰が設置された。このため、止水性植物がみられなくなったと考えられる。



河川整備計画 進捗点検	No 03	整備計画本文との対応 (ページ)	
		河川整備計画の目標に関する事項	河川整備の実施に関する事項
		P14~15	P23

調査区間の魚類の状況

2-2 魚類

- ・ 着工前調査時に確認された魚類は3種であったが、今回新たに8種確認され、オイカワ1種が確認されず10種が確認された。

【完成後調査結果】10種 (=3種[着工前調査結果]+8種[新たに確認]-1種[未確認])

- ・ 「環境省第4次レッドリスト」および「福井県レッドデータブック(動物編)選定種」にあるスナヤツメ類およびキタノメダカ(共に絶滅危惧Ⅱ類)が新たに確認された。
- ・ 着工前調査同様に、完成後調査で外来種は確認されなかった。

<考察・評価>

完成後調査結果で、新たにウグイやカマツカが確認された。これは、着工前調査の下流域に生息していた個体が、固定堰の撤去により、上流域へ生息域を拡大したためと考えられる。

着工前調査と完成後調査の魚類比較

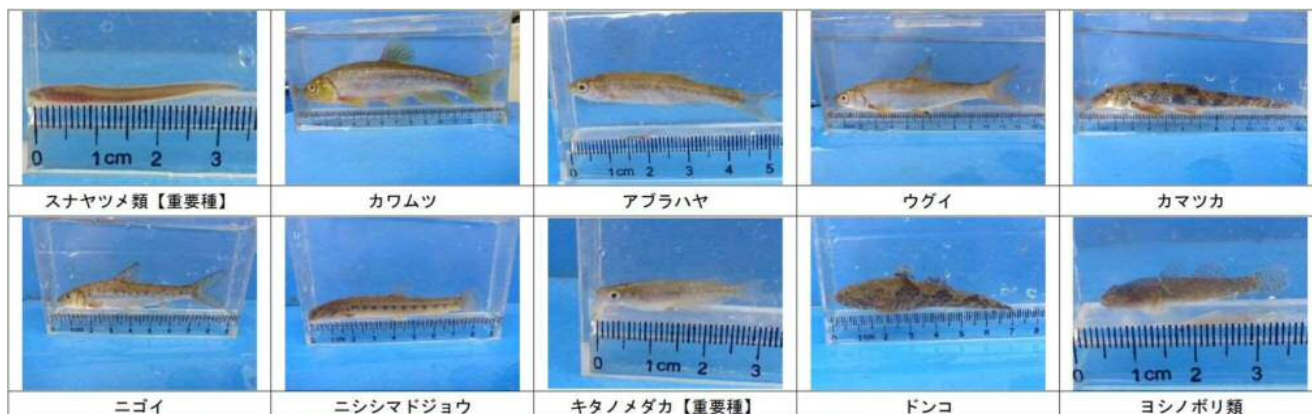
	目名	科名	種名	着工前調査			完成後調査	
				下流域	施工区間	上流域		
1	ヤツメウナギ	ヤツメウナギ	スナヤツメ類				●	
2	コイ	コイ	コイ	●				
3			ギンブナ	●				
4			オイカワ	●	●			
5			カワムツ	●	●		●	
6			アブラハヤ	●	●	●	●	
7			ウグイ	●			●	
8			カマツカ	●			●	
9			ニゴイ				●	
10			ドジョウ	ドジョウ	●		●	
11	ニシシマドジョウ	●				●		
12	ダツ	メダカ	キタノメダカ				●	
13	サケ	アユ	アユ	●				
14	スズキ	ドンコ	ドンコ	●		●	●	
15		ハゼ	ヨシノボリ類				●	
				11種	3種	3種		
5目 7科 15種							11種	10種

注) 施工前の結果は環境情報図 (H15) に基づく

青文字: 重要種

赤文字: 外来種

<河内川の主な魚類>



河川整備計画 進捗点検	No 03	整備計画本文との対応 (ページ)	
		河川整備計画の目標に関する事項	河川整備の実施に関する事項
		P14~15	P23

調査区間の底生動物の状況

2-3 底生動物

・ 着工前調査時に確認された底生動物は12種であったが、完成後調査で新たに28種確認され、モノアライガイやコヤマトンボ等7種が完成後調査で確認されず、33種が確認された。

【完成後調査結果】33種 (= 12種[着工前調査] + 28種[新たに確認] - 7種[未確認])

門名	綱名	目名	科名	種名	着工前調査		完成後調査	生物学的 水質階級	
					下流域	施工区間			
1	扁形動物	渦虫	三岐腸	サンカクアタマウズムシ	ナミウズムシ		●	os	
2					アメリカナミウズムシ		●		
3	軟体動物	腹足	盤足	カワニナ	カワニナ	◆	●	β m	
4		基眼	モノアラガイ	モノアラガイ	●	●		α m	
5			サカマキガイ	サカマキガイ	◆				
6	環形動物	ミミズ	オヨギミミズ	オヨギミミズ科			●		
7		イトミミズ	ミズミミズ	ユリミミズ属			●	ps	
8				Ophidona属	●	●			
-				ミズミミズ科	●		●		
9		ヒル	物無蛭	イシビル	シマイシビル	●	●	α m	
10	節足動物	軟甲	ヨコエビ	キタヨコエビ	オオエゾヨコエビ		●		
11			ワラジムシ	ミズムシ	ミズムシ	●	●	α m	
12			コツブムシ	イソコツブムシ	●		●	α m	
-				イソコツブムシ属		●	●		
13		エビ	アメリカザリガニ	アメリカザリガニ	◆		◆	ps	
14			モクズガニ	モクズガニ	◆				
15		昆虫	カゲロウ	コカゲロウ	サホコカゲロウ		●	α m	
16					フタモンコカゲロウ		●		
17					ウスイロフトヒゲコカゲロウ		●		
18					ウデマガリコカゲロウ	●	●		
19			ヒラタカゲロウ	シロタニガワカゲロウ			●	os	
-					タニガワカゲロウ属		●		
20			モンカゲロウ	モンカゲロウ		●	●	β m	
21			マダラカゲロウ	オオクママダラカゲロウ			●	os	
22				オオマダラカゲロウ			●	β m	
23				シリナガマダラカゲロウ			●	β m	
24				クシゲマダラカゲロウ	●		●	β m	
25				アカマダラカゲロウ			●	β m	
26		トンボ	カワトンボ	ニホンカワトンボ			●		
27			サナエトンボ	ダビドサナエ			●	β m	
-				ダビドサナエ属		●	●	β m	
28			エゾトンボ	コヤマトンボ		●	●	α m	
29		カワゲラ	カワゲラ	フタツメカワゲラ属			●		
30			アミメカワゲラ	アミメカワゲラ科			●		
31		トビケラ	シマトビケラ	コガタシマトビケラ			●	β m	
32				ウルマーシマトビケラ	●		●	β m	
-				シマトビケラ属	●				
33			ヒゲナガカワトビケラ	ヒゲナガカワトビケラ		●	●	os	
34			カクツツトビケラ	カクツツトビケラ属			●		
35		ハエ	ガガンボ	Tipula属		●	●	β m	
36			ユスリカ	エリユスリカ属			●		
37				ニセケバネエリユスリカ属			●		
38				ハモンユスリカ属		●	●	α m	
39				ナガレツヤユスリカ属			●	β m	
40				ナガレユスリカ属			●	α m	
41				ニセテンマクエリユスリカ属			●		
-				ユスリカ亜科			●		
-				エリユスリカ亜科			●		
42		コウチュウ	ヒメドロムシ	ヒメドロムシ亜科			●		
43			ヒラタドロムシ	クシヒゲマルヒラタドロムシ			●	β m	
	4門	6綱	15目	28科		12種	12種	18種	33種

< 凡例 >	
● : 定量調査	青文字 : 重要種
◆ : 魚類調査で確認	赤文字 : 外来種

水質階級	略語	水質
強腐水性	ps	大変きたない水
α-中腐水性	α m	きたない水
β-中腐水性	β m	少し汚れた水
貧腐水性	os	きれいな水

※ 生物学的の水質階級は「生物モニタリングの考え方 指標生物学」(山海堂、1985年)による

河川整備計画 進捗点検	No 03	整備計画本文との対応（ページ）	
		河川整備計画の目標に関する事項	河川整備の実施に関する事項
		P14~15	P23

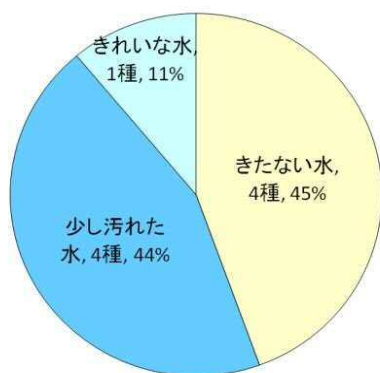
調査区間の底生動物の状況

<考察・評価>

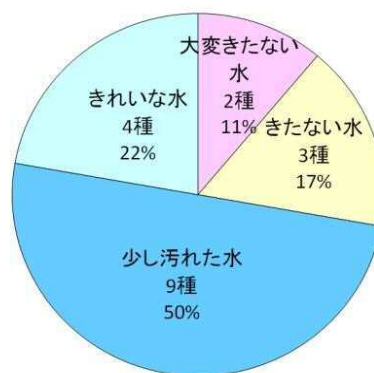
完成後調査で、新たに外来種であるアメリカザリガニが確認された。これは、着工前調査の下流域に生息していた個体が、固定堰の撤去により、上流域へ生息域を拡大したためと考えられる。

生物学的水質階級による確認種の評価を比較すると、「大変きたない水」、「きたない水」に生息する個体の割合が減少し、水質がよくなっていると考えられる。

生物学的水質階級による確認種の評価【着工前調査】



生物学的水質階級による確認種の評価【完成後調査】

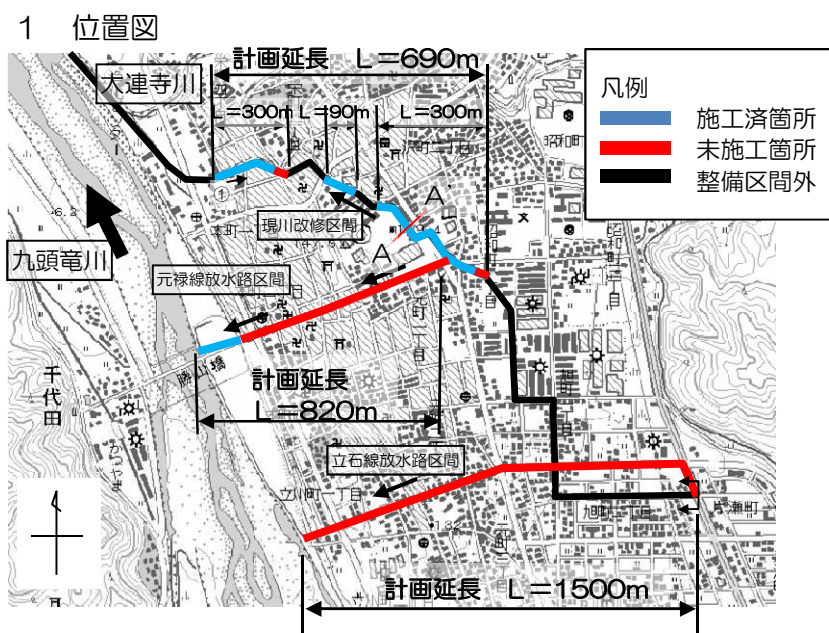


<河内川の主な底生動物>

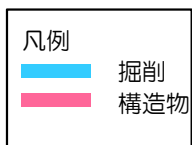
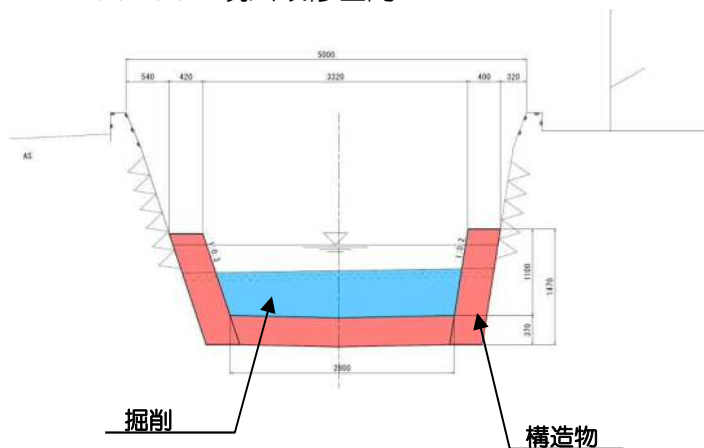
ナミウズムシ os: きれいな水	カワニナ βm: 少し汚れた水	オオエゾヨコエビ —	イソコツブムシ属 —	アメリカザリガニ【外来種】 ps: 大変きたない水
コガタシマトビケラ βm: 少し汚れた水	シロタニガワカゲロウ os: きれいな水	オオクママダラカゲロウ os: きれいな水	ニホンカワトンボ —	ダビドサナ βm: 少し汚れた水

河川整備計画 進捗点検		No 04	整備計画本文との対応 (ページ)		整備 目標年
			河川整備計画の目標 に関する事項	河川整備の実施 に関する事項	
			P14~15	P25~27	
記載事項	項目	5.1 河川工事の目的、種類及び施行の場所など (4) 大連寺川			
	内容	河床掘削、護岸工、地下放水路			
点検方法		河川整備の進捗状況、整備に対する配慮事項			
参考数値		整備進捗率(%) = 施工済延長(m) ÷ 計画延長(m) × 100			

進捗状況	
【点検結果】	
<ul style="list-style-type: none"> 整備進捗率 = 650(m) / 3010(m) × 100 = 22 (%) 	
【備考】	
<ul style="list-style-type: none"> 平成26年度 元禄線放水路着手 	



2 横断面
A-A' 現川改修区間



3 現況写真



河川整備計画 進捗点検	No 04	整備計画本文との対応 (ページ)		整備 目標年
		河川整備計画の目標 に関する事項	河川整備の実施 に関する事項	
		P14~15	P25~27	
記載事項	項目	5.1 河川工事の目的、種類及び施行の場所など (4) 大連寺川		
	内容	河床掘削、護岸工、地下放水路		
点検方法		河川整備の進捗状況、整備に対する配慮事項		
参考数値		整備進捗率(%) = 施工済延長(m) ÷ 計画延長(m) × 100		

4 整備にあたり配慮する事項

河川公園に位置する九頭竜川への放流口付近については、住民の利用に極力支障をきたさないような工事施工を行なった。

- ・案内看板を設置し、河川公園利用者に対して周知を図った。
- ・河川公園利用者の利便性を考慮して、樋管直下流ならびに放流口付近に水路横断橋を設置する計画とした。



5 工程表

区間	～概ね10年	～概ね20年	～概ね30年			
現川改修, 元禄線放水路						
立石線放水路						
	H18 年度	H22 年度	H28 年度	H36 年度	H38 年度	H48 年度

点検結果の考察

- ・河川整備計画に基づき進捗が図られている。

河川整備計画 進捗点検	No 05	整備計画本文との対応（ページ）	
		河川整備計画の目標に関する事項	河川整備の実施に関する事項
		—	P28
記載事項	項目	5.2.2.1 洪水等による災害の発生の防止又は軽減に関する維持管理 (1)河川管理施設の維持管理	
	内容	① 河川施設の巡視、修繕状況	
点検方法		「河川巡視」の実施内容	
参考数値		—	

① 河川施設の巡視

- 河川巡視は、「河川管理施設の保全状況」や「河川区域での違法行為」などについて把握するため、「福井県河川パトロール実施要領」に基づき、ブロック内の管理河川全区域（23河川、総延長108.945km）を対象に実施している。
- 実施頻度は、重要水防区域や水防警報河川では出水期前に1回、出水期期間中に月1回以上、その他の河川では年1回以上を目安としている。

河川管理施設の点検内容（福井県河川パトロール実施要領より）

項目	パトロール内容	措置
堤防の状況	亀裂、沈下、法崩れ、漏水箇所の有無	異常があれば写真撮影・測量し報告する
護岸の状況	亀裂、洗掘、陥没箇所の有無	
根固の状況	流失、破損箇所の有無	
構造物（取水堰等）の状況	亀裂、漏水、流失、洗掘の有無	異常があれば写真撮影し報告する
河状、流水の変化	河床の異常洗掘、みお筋の変化 土砂の堆積の状態はどうか 草木等が異常に繁茂していないか	
親水施設の状況等	利用安全性 (施設の損傷、危険性の確認)	異常があれば写真撮影し報告する 危険がある場合、注意喚起する

河川環境の点検内容（福井県河川パトロール実施要領より）

項目	パトロール内容	措置
河川および排水の水質状況	特殊な汚濁色、油の流下、 魚のへい死への対応 (油、へい死した魚の回収作業を含む)	発見した場合、写真撮影・報告する
ゴミ投棄	河川区域へのゴミ投棄、放置車両がないか	発見した場合、写真撮影・回収する 違法投棄者がわかれば、撤去の要請をする ただし、受託者は撤去要請しない
生態系の状況	河川区域の植生、鳥類等の生態の状況 に著しい変化はないか	異常があれば、写真撮影し報告する

応急対応（皿川）



本復旧（皿川）



- 護岸背面土砂の吸出しを発見し、バリケードを設置

河川整備計画 進捗点検		No 05	整備計画本文との対応 (ページ)	
			河川整備計画の目標に関する事項	河川整備の実施に関する事項
			—	P28
記載事項	項目	5.2.2.1 洪水等による災害の発生の防止又は軽減に関する維持管理 (1)河川管理施設の維持管理		
	内容	② 永平寺ダム・浄土寺川ダムの維持管理状況		
点検方法		「ダム点検」の実施内容		
参考数値				

② 永平寺ダム・浄土寺川ダムの維持管理状況

- ・ 設備や計測項目別に頻度等の点検項目表を作成し、職員による巡視・点検や、専門業者による設備の点検を行い、ダムの機能保全を図っている。

点検項目表

区分	細分又は設備・装置名	頻度	点検内容
ダム本体及び貯砂ダム本体	外観	1回/日	目視点検
	変形量	1回/月	計器計測
	漏水量	2回/月	計器計測
	揚圧力又は間隙水圧	1回/月	巡回計測
放流設備	ゲート	1回/週	目視点検
		1回/月	動作点検
	取水設備	1回/週	目視点検
		1回/月	動作点検
	主流放流設備	1回/週	目視点検
		1回/月	動作点検
	小放流設備	1回/週	目視点検
水道取水設備	1回/週	目視点検	
	1回/月	動作点検	
操作制御設備	放流操作装置	1回/週	目視点検
	放流判断支援・流出予測装置	2回/年	専門業者
		1回/週	目視点検
	情報表示盤	2回/年	専門業者
		1回/日	目視点検
	警報表示盤	2回/年	専門業者
		1回/日	目視点検
	カラーレーザープリンタ	2回/年	専門業者
1回/日		目視点検	
機側伝送装置	2回/年	専門業者	
流量計盤	1回/週	目視点検	
	2回/年	専門業者	

職員による点検状況



専門業者による点検状況



点検結果の考察

- ・ 河川管理施設において適切な維持管理が行われている。

河川整備計画 進捗点検	No 06	整備計画本文との対応（ページ）	
		河川整備計画の目標に関する事項	河川整備の実施に関する事項
		—	P28
記載事項	項目	5.2.2.1 洪水等による災害の発生の防止又は軽減に関する維持管理 (2)河道の維持管理	
	内容	①堆積土砂の撤去、樹木群の伐採 ②河床低下により河川管理施設の影響が生じた場合の対応 ③橋梁や樋門等の新設・改築時の占有者の指導	
点検方法		「堆積土砂の撤去」「樹木群の伐採」の取組み状況、占有者への指導	
参考数値		堆積土砂撤去量・樹木群の伐採量(平成24年度～平成26年度)	

① 堆積土砂の撤去、樹木群の伐採

- ・ 堆積土砂の撤去については、河積阻害の程度を確認した上で浚渫を実施している。
- ・ 樹木群の伐採については、コスト縮減のために一部の伐木を30cm～50cmに小割にして住民に無償提供を行っている。平成26年度は他ブロックの優先度の高い箇所を実施したため、九頭竜川中流部ブロックの実績は少ない。

堆積土砂・樹木群の撤去（平成24年度～平成26年度）

	H24	H25	H26
堆積土砂撤去量 (m3)	1,080	960	1,360

	H24	H25	H26
樹木群の伐採量 (t)	77.0	119.0	9.0
無償提供 (t)	22.0	43.0	2.0

堆積土砂の撤去（永平寺川 永平寺町東古市）



樹木群の伐採（九頭竜川 永平寺町中島）



② 河床低下により河川管理施設の影響が生じた場合の対応

- ・ 河床低下による影響は確認されていない。

③ 橋梁や樋門等の新設・改築時の占有者への指導

- ・ 橋梁に関しては、現況堤防高より橋の桁下高を高く設定するなど、出水時に治水上重大な影響が出ないように指導をおこなっている。

（平成19年度～26年度の占用許可 橋梁6ヶ所、樋門0ヶ所、その他2ヶ所）

点検結果の考察

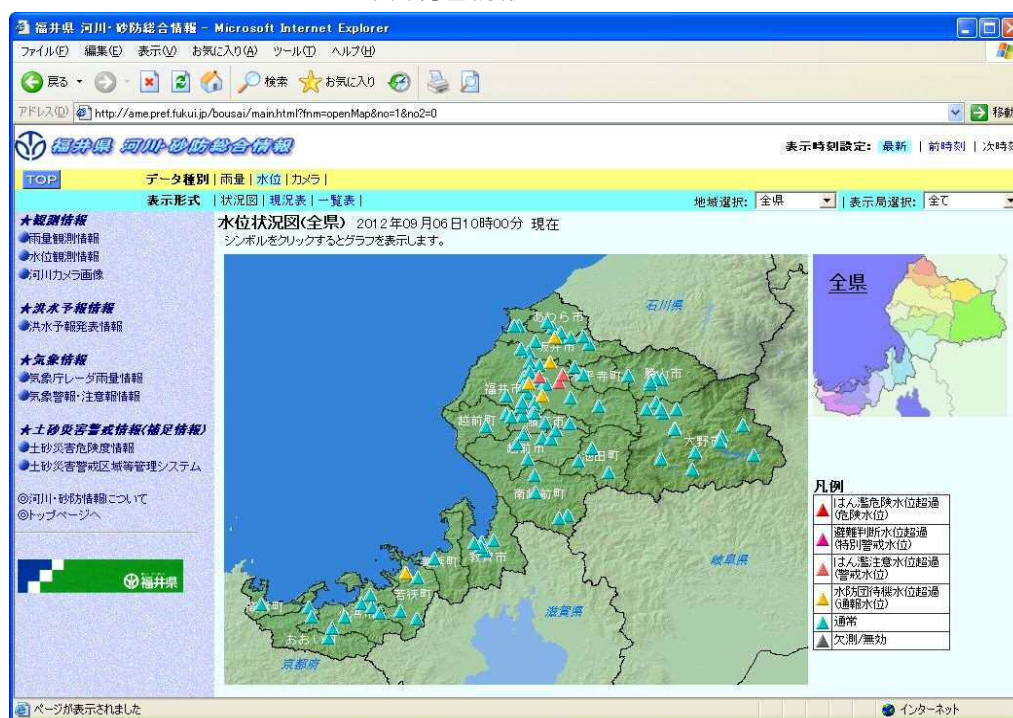
- ・ 特になし

河川整備計画 進捗点検	No 07	整備計画本文との対応（ページ）	
		河川整備計画の目標に関する事項	河川整備の実施に関する事項
		P14～15	P28～29
記載事項	項目	5.2.2.1 洪水等による災害の発生防止又は軽減に関する維持管理 (3) 防災機能の充実	
	内容	① 流域内の雨量や河川水位情報の提供方法 ② 浸水想定区域図・洪水ハザードマップ作成	
点検方法		流域内の雨量や河川水位情報の提供状態、洪水ハザードマップ公表状況	
参考数値		指定状況・公表年月日	

① 流域内の雨量や河川水位情報の提供方法

- ・ 雨量や河川水位等の河川情報を収集し、地域住民へインターネット等で防災情報を提供する河川・砂防総合情報システムを構築している。
- ・ 九頭竜川中流部ブロックにおいては、雨量観測所5ヶ所、水位観測所6ヶ所設置している。
（福井県全体 雨量観測所82ヶ所、水位観測所75ヶ所）

河川・砂防総合情報システム



② 浸水想定区域図・洪水ハザードマップの作成

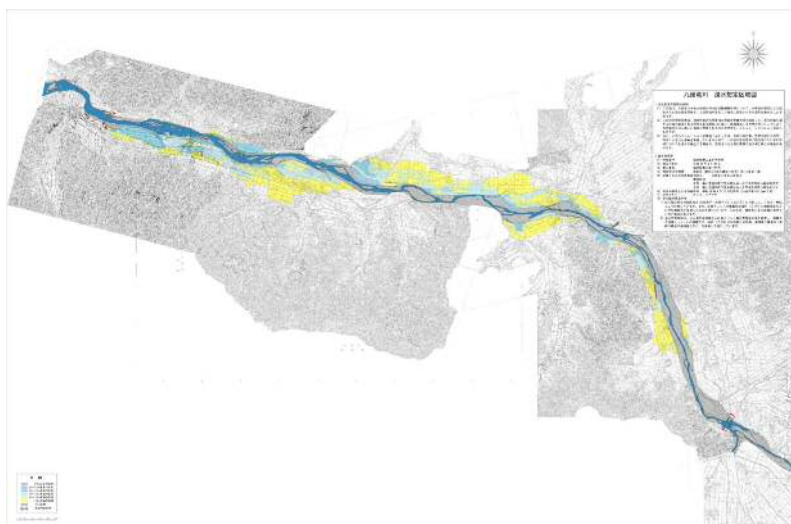
- ・ 水位周知河川に指定されている九頭竜川について、浸水想定区域図を作成し、インターネットで公表されている。
- ・ 市町の洪水ハザードマップ作成を支援することで、各市町の洪水ハザードマップが公表されている。

洪水ハザードマップの公表

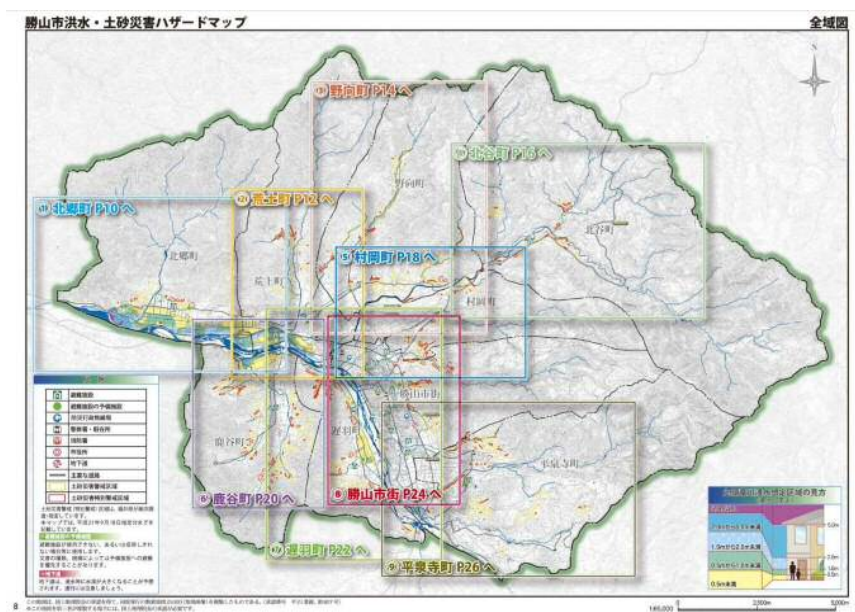
作成市町	対象河川	公表年月日
勝山市	九頭竜川	平成19年3月30日
永平寺町	九頭竜川	平成21年3月10日

河川整備計画 進捗点検	No 07	整備計画本文との対応（ページ）	
		河川整備計画の目標に関する事項	河川整備の実施に関する事項
		P14～15	P28～29
記載事項	項目	5.2.2.1 洪水等による災害の発生防止又は軽減に関する維持管理 (3) 防災機能の充実	
	内容	① 流域内の雨量や河川水位情報の提供方法 ② 浸水想定区域図・洪水ハザードマップ作成	
点検方法		流域内の雨量や河川水位情報の提供状況、洪水ハザードマップ公表状況	
参考数値		指定状況・公表年月日	

浸水想定区域図 九頭竜川



勝山市洪水・土砂災害ハザードマップ



点検結果の考察

- ・ インターネット等を活用し、水害リスクに関する情報の提供ができています。

河川整備計画 進捗点検	No 08	整備計画本文との対応（ページ）	
		河川整備計画の目標に関する事項	河川整備の実施に関する事項
		P15	P29
記載事項	項目	5.2.2.2 河川の適正な利用及び流水の正常な機能の維持に関する維持管理 (1)水量の管理 (2)許可工作物の設置等への対応	
	内容	① 日常的な水量の把握 ② 慣行水利権の許可水利権への移行 ③ 渇水対策 ④ 取水堰等の点検・修理指導	
点検方法		「許可水利権化」「渇水対策」「許可工作物の設置等への対応」の取組み	
参考数値			

① 日常的な水量の把握

- ・ 下表の水位観測所で日常的に水量を把握している。

水位観測所

河川名	観測所
九頭竜川	小舟渡、比島
永平寺川	諏訪間
浄土寺川	栄、長山、砂留花橋

② 慣行水利権の許可水利権への移行

- ・ 慣行水利権は、計画策定以降、取水施設の改築がなかったため、231件から件数に変わりが無い。
- ・ 慣行水利権の許可水利権への移行の件数が増えるように、取水施設の改築時には、利水者との調整を行う。

③ 渇水対策

- ・ 平成25年度に少雨傾向が予想され県民生活への被害発生が懸念されたため、「福井県渇水対策連絡会議」を設置した。河川管理者は、福井県内の管理河川の流況について報告し、農林水産部等に節水要請を行った。

福井新聞（H25.6.15）

福井県渇水対策連絡会議渇水対策メンバー

土木部	技幹
	道路建設課長
	砂防防災課長
	都市計画課長
安全環境部	河川課長
	危機対策・防災課長
健康福祉部	医療薬品・衛生課長
産業労働部	公営企業経営課長
農林水産部	水田農業経営課長
	園芸畜産課長
	水産課長
	県産材活用課長
	農村振興課長



④ 取水堰等の点検・修理指導

- ・ 計画策定以降、施設管理者に対して点検・修理等を指導した実績は無い。

点検結果の考察

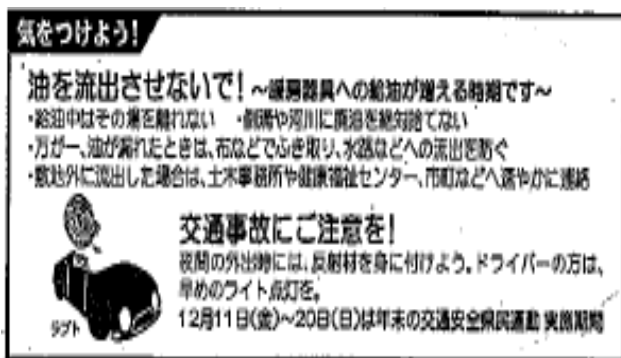
- ・ 特になし

河川整備計画 進捗点検	No 09	整備計画本文との対応（ページ）	
		河川整備計画の目標に関する事項	河川整備の実施に関する事項
		P15	P29～30
記載事項	項目	5.2.2.3 河川環境の整備と保全に関する維持管理 (1)水質の監視	
	内容	① 水質の情報提供方法及び水質に対する住民意識の向上や啓発活動・広報活動の取組み ② 水質事故等の発生状況及び発生時の対応 ③ ダム管理者や発電事業者による濁水の長期化	
点検方法		水質監視の取組み	
参考数値			

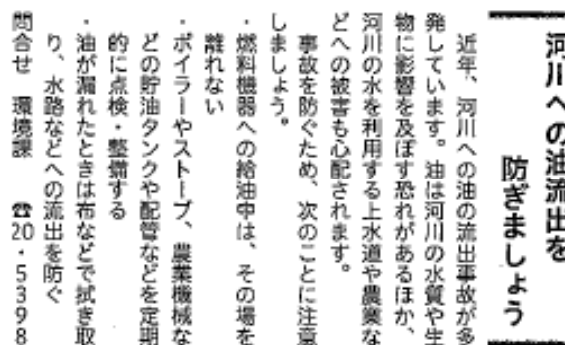
① 水質の情報提供方法及び水質に対する住民意識の向上や啓発活動・広報活動の取組み

- ・ 水質に関する情報をインターネットで公表し、水質に対する住民の意識を高めるために1年に1回（例年12月頃）、水質を汚濁しないように新聞等に掲載し県民に情報提供を呼びかけている。

福井新聞（H27.12.1）



広報 FUKUI（H27.12.10）



② 水質事故等の発生状況及び発生時の対応

- ・ 九頭竜川中流部ブロックにおいて、油流出や魚へい死による水質事故は、確認されていない。

③ ダム管理者や発電事業者による濁水の長期化

- ・ 九頭竜川中流部ブロックにおいて、ダムや発電事業者による長期的な濁水は、確認されていない。

点検結果の考察

- ・ 特になし

河川整備計画 進捗点検	No 10	整備計画本文との対応 (ページ)	
		河川整備計画の目標に関する事項	河川整備の実施に関する事項
		P15	P30
記載事項	項目	5.2.2.3 河川環境の整備と保全に関する維持管理 (2)河川環境の保全	
	内容	① 永平寺川の魚道の整備	
点検方法		魚道整備効果	
参考数値			

① 永平寺川の魚道の整備計画

- ・ 地域全体及び魚の保全活動グループの機運が高まり、整備に至った。
- ・ 永平寺川で確認されているサクラマスを対象とした。
- ・ 水深がある程度確保されており、産卵場所として適していると思われる志比南小学校まで（九頭竜川本川から約4.5km）魚道の改修を計画した。
- ・ 計画する区間において魚の遡上が困難と思われる横断工作物8箇所を魚道を設置することとした。



魚の遡上に支障をきたしている既存の河川横断工作物

<2号魚道施工箇所>



魚道幅が狭いため、遡上困難。

<6号魚道施工箇所>



落差工が急勾配なため、遡上困難。

河川整備計画 進捗点検	No 10	整備計画本文との対応（ページ）	
		河川整備計画の目標に関する事項	河川整備の実施に関する事項
		P15	P30
記載事項	項目	5.2.2.3 河川環境の整備と保全に関する維持管理 (2) 河川環境の保全	
	内容	① 永平寺川の魚道の整備	
点検方法	魚道整備効果		
参考数値			

①-1 永平寺川の魚道構造の工夫（環境配慮）

- ① 水量が無い時でも魚が滞留できるように、魚道本体の下流に深場を設けた。
- ② 水量が少なくなった時においても必要な水深が確保できるように、切欠き付きの隔壁を設けた。
- ③ 剥離流により魚が遡上しにくくならないように、隔壁下流部を丸くした。

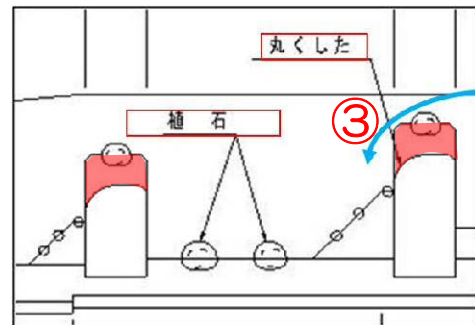
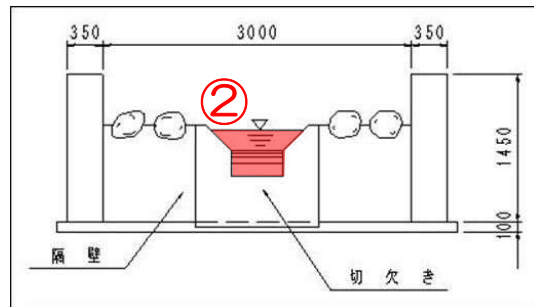
2号魚道 施工前



2号魚道 施工後



魚道構造図



①-2 永平寺川の魚道効果（その1）

- ・ 魚道を遡上しているサクラマスが、確認できた。

サクラマスの遡上



平成22年11月11日 福井新聞

サクラマス40年ぶり姿

永平寺川中流域

魚道改修奏功

（以下は新聞記事の抜粋）

【福井県】永平寺川の中流域で、40年ぶり姿のサクラマスが確認された。これは、魚道改修の効果が現れていると見られる。改修された魚道（奥）をせよし、産卵の準備をするサクラマス。永平寺町、町役場。

（以下は新聞記事の抜粋）

【福井県】永平寺川の中流域で、40年ぶり姿のサクラマスが確認された。これは、魚道改修の効果が現れていると見られる。改修された魚道（奥）をせよし、産卵の準備をするサクラマス。永平寺町、町役場。

河川整備計画 進捗点検	No 10	整備計画本文との対応（ページ）	
		河川整備計画の目標に関する事項	河川整備の実施に関する事項
		P15	P30
記載事項	項目	5.2.2.3 河川環境の整備と保全に関する維持管理 (2)河川環境の保全	
	内容	① 永平寺川の魚道の整備	
点検方法		魚道整備効果	
参考数値			

①-3 永平寺川の魚道効果（その2）

- ・ 魚道を遡上しているアユが、確認された。

平成24年10月16日 福井新聞



①-4 地域の活動

- ・ 地元住民による、魚道完成式が開催された。
- ・ 魚道改修最上流部において、継続的に志比南小学校の生徒達によるサクラマスやアユの観察会が開催されている。

魚道完成式



魚の観察会



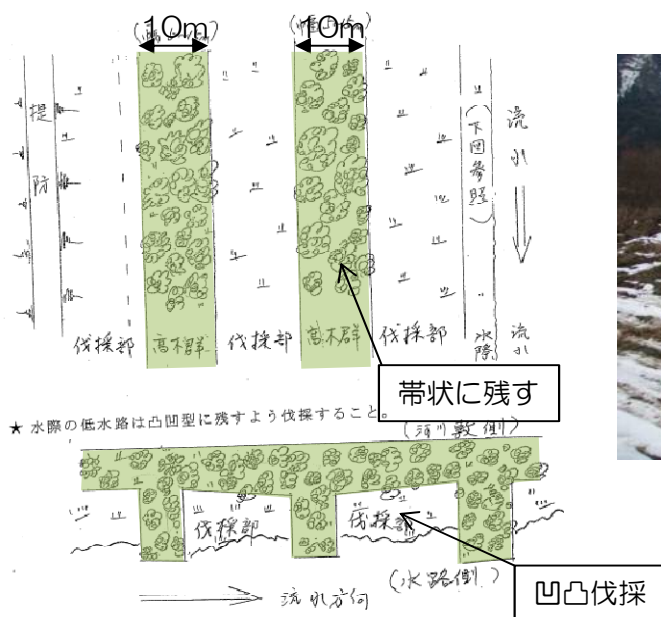
河川整備計画 進捗点検		No 10	整備計画本文との対応 (ページ)	
			河川整備計画の目標に関する事項	河川整備の実施に関する事項
			P15	P30
記載事項	項目	5.2.2.3 河川環境の整備と保全に関する維持管理 (2)河川環境の保全		
	内容	② 河道内の樹木の伐採等の手法 ③ 外来種の対応状況 ④ 永平寺川と浄土寺川のダム貯留水を利用した河川環境の保全の取組み		
点検方法				
参考数値				

② 河道内の樹木の伐採等の手法

(財)日本野鳥の会(有識者)の意見を聞き、以下のことを行った。

- ・ 急激な環境の変化を避けるため、片岸の伐採に努めた。
- ・ 高水敷または低水敷に群生する縦断的に樹木群幅を約10m程度の帯状に残した。
- ・ 低水敷の水際に群生している樹木および草木類は残すように配慮し、必要に応じて、水制的作用のある凹凸伐採を行った。
- ・ 樹木の伐採時期は、野鳥類の繁殖期を避けて、1月下旬に実施した。

伐採方法図面



九頭竜川(永平寺町大野島)



③ 外来種の対応状況

- ・ 九頭竜川中流部ブロックにおいては、特定外来生物が確認されていないため、外来種の駆除に取組んだ実績はない。

④ 永平寺川と浄土寺川のダム貯留水を利用した河川環境の保全の取組み

- ・ 両ダムは、維持流量を設定し、既得用水量を含んだ正常流量を河道に流している。

点検結果の考察

- ・ 永平寺川の魚道整備等により、河川環境の保全・改善が図られている。

河川整備計画 進捗点検		No 11	整備計画本文との対応（ページ）	
			河川整備計画の目標に関する事項	河川整備の実施に関する事項
			P15	P30
記載事項	項目	5.2.2.3 河川環境の整備と保全に関する維持管理 (3)河川空間の適切な利用		
	内容	① オープンスペースとしての高水敷部の利用や河川とのふれあい・体験学習の場としての利用 ② 河川内の不法投棄を防ぐための看板の対策		
点検方法		利用状況		
参考数値				

- ① オープンスペースとしての高水敷部の利用や河川とのふれあい・体験学習の場としての利用状況。
- ・ 永平寺町中島地区の中島公園においては、オープンスペースとして日常的に住民が利用している。
 - ・ 永平寺町の九頭竜川河川敷を利用して、例年8月下旬に「永平寺大燈籠ながし」を開催している。日本夜景遺産の「歴史文化遺産」にも指定され知名度の高いイベントとなっている。
 - ・ 勝山市の九頭竜川河川敷を利用して、例年2月下旬に「左義長祭り（ドンド焼き）」を開催している。

河川敷中島公園（永平寺町中島）



大燈籠流し（永平寺町谷口）



ドンド焼き（勝山市本町）



- ② 河川内の不法投棄を防ぐための対策

- ・ 九頭竜川の勝山橋で不法投棄を防ぐための看板を設置している。年に1回、警察機関及び農林関係と合同パトロールを実施している。

看板設置（勝山市本町）



河川敷パトロール（勝山市鹿谷町保田）



点検結果の考察

- ・ 日常的な利用、イベント等で活用されている。
- ・ 河川内の不法投棄を減らすための河川巡視や看板の設置等の対応が講じられている。

河川整備計画 進捗点検	No 12	整備計画本文との対応（ページ）	
		河川整備計画の目標に関する事項	河川整備の実施に関する事項
		P15	P31
記載事項	項目	5.3.1 地域住民との協働	
	内容	① 住民参加による河川美化活動	
点検方法		住民との協働による「河川美化活動」の取組み	
参考数値		住民との協働による草刈り等の参加人数	

① 住民参加による河川美化活動

- ・ 平成23年～26年の間、毎年5,000人～7,000人の住民が、河川の草刈りや清掃活動に参加している。

じょう
淀川（勝山市 片瀬町）



九頭竜川（勝山市 荒土町妙金島）



点検結果の考察

- ・ 地域住民との協働による河川美化活動が定着している。